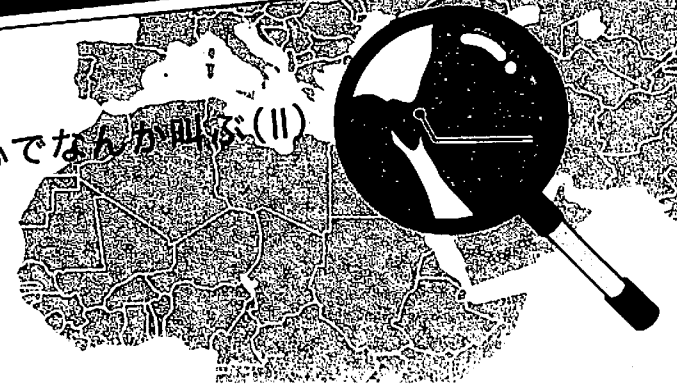


中東

酒井啓子



第6回 中東の中心でなんか叫ぶ(II)



①はじめのことを考えていたら、パレスチナのことを思い浮かんだ。パレスチナのことを考えたら、パレスチナに来ていた。前回(32号)イラクでおっこっちゃったから、今回はちゃんとパレスチナに到達したんだろう。

子供が爆弾を握り締めていたので、それをどうするのかと聞いたら、敵をやっつけるのだと言った。敵とは誰かと聞けば、自分たちを占領しているイスラエル兵士だといった。40年前前に自分たちの街に戦車でやってきて、以来、日々、自分たちの生活は監視されている。移動もままならず、土地を奪われ仕事もなく生まれたときから監獄にいるようなものだ。オヤジはイスラエル兵にしようびかれていったし、アニキはテロリストだといわれて殺された。あいつらをやっつけなきゃ、生きていけないんだ。

検問所のイスラエル兵が、言う。だってお前らパレスチナ人たちは、自爆で罪もないイスラエルの民間人を殺しているじゃないか。俺たち兵士はイスラエル国民を守っているんだ。お前らパレスチナ人がテロ活動を止めないから、警備を強化してるだけさ。

キリスト教の聖地巡りをしていたアメリカ人の観光客が、口を挟んだ。そうよ、話し合いで解決すればいいじゃない。

話し合い? と、パレスチナの子供が言う。壁と銃を持った兵士と鉄条網に囲まれて、さあ話をしようといわれて、何を言ったら聞いてもらえるというんだ? 「このテロリストのガキ、黙れ、口答えするな!」としか言われないうつてのに。

話し合いはあったじゃないか、と、イスラエルの平和活動家が言う。14年前、オスロ合意(注1)でパレス

チナ人に自治を認めたらじゃないか。そうよ、最初にパレスチナで子供たちが素手で抵抗運動をしていたころには、と、アメリカの観光客が言った。私たちもパレスチナの人たちがかわいそうだと思ったわ。でも、自爆テロなんかしてれば、国際社会の誰も支持してくれないわよ。

オレは15年前には、素手でタタカッていたよ、とパレスチナの若者が言う。非暴力を口で言うのは簡単だよな。非暴力抵抗主義に感動して、攻撃を止めてくれるような相手なら、いいよな。だけど、それで何が起こった? 結局イスラエルの占領は続くばかりだし、俺たちの土地にどんなユダヤ人の入植地が出来ていった、悪くなる一方じゃないか。壁に囲まれ、息の根をとめられたまま放置されて死ぬくらいなら、こんな生活をもたらししたイスラエル人の一人や二人を道連れにして、どこが悪



国際社会？ そんなものくそくら
 えた。と、パレスチナ人の大学生が
 言った。イスラエルが占領を止める
 べきだと、イスラエルがパレスチナ
 人を攻撃してはいけない。といった
 ことだ。これは多くの国連決議案が提案
 されたと思う？ 結局アメリカが反
 対して、採択されなかったじゃない
 か。採択されたって、実行されやしな
 いのにさ(注2)、と、若者が言っ
 た。アメリカは石油がある国になら
 国連決議がなくてもせつせと戦争
 するの、国連がイスラエルの撤退
 を採択してたって、誰もそれを実現
 させるために一生懸命働こうとなん
 か、しないんだ。
 ちょっと待てよ。だからといって、
 イスラエルを全面否定したり、真っ
 向からアメリカに反抗したって、事
 態はよくなるんじゃないか、と、

スーツ姿のビジネスマン風の男がい
 った。ある程度はイスラエルと話し
 合わなきゃならないだろ？
 あんた、誰？ 若者と大学生と、
 爆弾を握った子供が聞いた。

パレスチナ人だよ、とスーツ男が
 言った。PLOのファタハに加わっ
 て、二年前までパレスチナ自治議会
 の議員をしていたよ(注3)。何十
 年も、パレスチナのために戦ってき
 たんだ。なのに、イスラエルを絶対
 認めない過激派のハマスが勝手なこ
 とばかりして、むやみに武力振り回
 して、俺たちが懸命に進めてきた和
 平をつぶしやがった。

ファタハなんて、と若者が言った。
 アメリカの言うなりばかりでさ、和
 平だったって、イスラエルにいたい
 ことも言えず、何の役にもたなか
 ったじゃないか。去年始めのパレス
 チナ議会選挙で、何でファタハが負
 けたか、何でハマスが大勝して与党

になったのか、まだ反省してないの
 か、あんたたちは？
 ファタハが腐ってたからだよ、と、
 大学生が言った。理不尽な目に遭わ
 されている俺たちパレスチナ人のた
 めに、国際社会が送った援助やアラ
 ブ諸国の義捐金が、どこに消えちま
 ったんだよ？ あんたたちファタハ
 の親分だったアラファトが、三年前
 に死んだとき、何であいつの個人口
 座にたんまりとカネがあっただんだ？
 ファタハなんて、三十年もの間、
 「パレスチナの代表」の顔して、私
 腹を肥やしてきただけじゃないのか
 よ。

だから俺は、選挙のときはハマス
 に投票したんだよ、と若者が言った。
 イスラエルに対してはつきりノー！
 を言うのも気持ちよかつたけど、や
 っぱハマスはファタハよりクリーン
 だもんな、腹黒い万年政治家運中よ
 り、よっぽど信頼できるってもんだ

ぜ。

このやろう、俺たちがどれだけ苦
 勞してきたと思ってるんだ、と、フ
 アタハのスーツ男がキレた。ハマス
 はイスラーム主義者なんだぞ？ イ
 ランやサウジみたいな宗教が支配す
 る国にパレスチナをしたいのか？
 ハマスにはもう、我慢できない、与
 党だろうがなんだろうが、力でつぶ
 してやる！

ちようどいいですね、と、海の向
 こうでアメリカ人が言った。パレス
 チナ人の間で、派閥対立が起こって
 いる。このままパレスチナ自治政府
 が内部対立を続けてくれると、都合
 のいいように誘導できるかもしれま
 せん。

同じ国の、白い家に住む人が言っ
 た。そうね、ハマスのようなイスラ
 エルに徹底抗戦を言うような人たち
 を、パレスチナ政府与党としてみな
 すことはできません。私たちとして

は、世俗派のファタハのほうが相手
 にしやすいわ。ハマスが政権をとっ
 ている以上、パレスチナには財政援
 助をしないことにしましょう。そう
 ね、ヨーロッパや日本にも、そのよ
 うに伝えておいてね。

爆弾を握り締めていた子供が、
 膝を抱えて座り込んでいた。どうし
 たんだ？と聞くと、わかんなくなっ
 ちゃったよ、と言う。

ずっとイスラエルをやつつけるた
 めに、石を投げてきたんだ。なのに、
 今、みんなファタハをやつつける、
 と言っている。ファタハはハマスを
 やつつける、と言う。

ファタハは、ヨルダン川西岸地域
 は俺たちのものだ、という。ファタ
 ハが帰ってきたら、西岸にはお金が
 届いたよ。ハマスはガザを牛耳って
 いて、そこにはお金はないんだ。
 みんな、パレスチナのためにタタ

カツてきたんだろ？ なのに、パレ
 スチナ自治区はふたつに分裂しちゃ
 った。どうすればいいの、もうわ
 かんないんだ。
 悪いな、と俺は言った。俺には答
 えられない。自分で考えるんだな。
 立ち去りながら、ひよつとしたら
 子供は爆弾を持ったまま、どこかに
 突っ込むかもしれない、と思った。

注1 1993年、ノルウェーの仲介で、PLOとイ
 スラエル政府の間で始めて成立した合意。パレスチナ
 に暫定的に自治を認めたもので、翌年西岸の一部とガ
 ザを自治区としたパレスチナ自治政府ができた。

注2 イスラエル軍の全占領地からの撤退を求め
 た国連決議242(1967年)と338(1973年)
 は、米国も含めて採択されたが、実行されていない。

注3 世俗派のファタハは自治政府成立後ずっと
 議会の多数派だったが、2006年1月の選挙でハマ
 スに大敗した。

酒井啓子

東京外国語大学大学院
 地域文化研究科教授(イラク政治)